

家族コード：

記入年月日：

年 月 日

IFR-JA

(家族レジリエンス不足の評価尺度)



The Japanese Version of the Assessment Scale for Insufficiencies in Family Resilience (IFR-JA)

© Natsumi Kijima, Naohiro Hohashi

ご記入にあたってのお願い

この質問紙は、現在のあなた（あなたがた）のご家族が直面する困難（問題・課題・困難・苦悩）をどの程度乗り越えることができるかを評価するものです。ご家族の行為を表した各21項目には、“全くそう思わない”から“とてもそう思う”までの5段階の評価があります。普段のご家族の様子を思い浮かべながら、あなた（あなたがた）のご家族がもっとも当てはまる数字をひとつだけ○で囲んでください。

現在、家族内に困難があると感じている家族は、ご家族が各行為をどの程度行えているかをお答えください。現在、家族内に困難がないと感じている家族は、ご家族が困難に直面したときに、各行為をどの程度行えるかをお答えください。できる限りご家族の方で相談しながら、ご家族全体としての意見を答えてください。一般的に望ましいとされることにとらわれず、あまり深く考え込みます、第一印象を大切にして21項目すべてに答えてください。

“家族”とは、あなた（あなたがた）が家族であると考えるひとびと（あなた自身を含む）のことで、例えば、親、婚姻関係が成立している配偶者・パートナー（同棲・内縁・事実婚関係者も含む）、こどもなどで構成されます（同居の有無は問いません）。ただし、亡くなつたひと、お腹の中の赤ちゃん、ペットは含みません。また、“こども”とは18歳未満のこども全員をさします（例えば、実子、養子、孫、ひ孫など）。

現在、[家族内に困難があると感じている家族](#)は、ご家族が各行為をどの程度行えているかをお答えください。

現在、[家族内に困難がないと感じている家族](#)は、ご家族が困難に直面したときに、各行為をどの程度行えるかをお答えください。

あなた個人の考えではなく、[あなたのご家族全体の考え方](#)をご回答ください。4つの項目には、[INAP](#)があります。[INAP](#)を選んだときは、その項目のご回答は不要です。

家族全体の考え方
(ひとつだけ○で囲む)

| | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|---------|
| 全くそう思わない | あまりそう思わない | どちらでもない | 少しそう思う | とてもそう思う |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |

1 家族は、親類に支援を要請できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

2 家族は、友人に支援を要請できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

3 家族は、同じ苦労をするひとに支援を要請できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

4 家族は、地域のひとに支援を要請できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

5 家族は、職場のひとに支援を要請できる

現在、仕事に就いている家族メンバーがいない場合は [INAP](#)のみを○で囲んでください

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

[INAP](#)

6 家族は、専門職者（医師・看護師・心理カウンセラーなど）に支援を要請できる

現在、通院などを必要とする家族メンバーがいない場合は [INAP](#)のみを○で囲んでください

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

[INAP](#)

7 家族は、幼稚園・保育所・学校に支援を要請できる

現在、18歳未満のこどもがいない場合は [INAP](#)のみを○で囲んでください

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

[INAP](#)

8 家族は、公的支援（失業保険、介護保険、ひとり親支援、障がい者事業所など）を探して活用できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

9 家族は、宗教（宗教的なもの、ひと、こと）を支えにできる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

10 家族で相談できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

11 家族は、解決に必要な知識を探して活用できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

家族全体の考え方
(ひとつだけ○で囲む)

| | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|---------|--|
| | | | | | |
| 全くそう思わない | あまりそう思わない | どちらでもない | 少しそう思う | とてもそう思う | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | |

12 家族は、家族の問題を受け入れることができる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

13 家族は、家族メンバーの病気・障がいを受け入れることができる
現在、病気や障がいをもつ家族メンバーがいない場合は INAP のみを○で囲んでください

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

INAP

14 家族は、家族の中で不足している役割（子育て、家事、介護・療養上の世話、親が果たすべき役割など）を補うことができる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

15 家族は、問題をもつ家族メンバーを支えることができる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

16 家族は、家族メンバー間の距離（心理的な関係、物理的な距離）を適切にできる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

17 家族は、心の拠りどころとなる信念を得ることができる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

18 家族は、一致団結して協力できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

19 家族は、過去の経験を活用できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

20 家族は、良好な関係を築くための時間を確保できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

21 家族は、解決に向けた目標を設定できる

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

使用上の注意：IFR-JA は、研究・実践・教育を目的とする場合は、出典を引用すれば、無料で自由に使用できる。



- 開発者 : 木島夏海, 法橋尚宏
- 開発論文 : Hohashi, N., & Kijima, N. (2025). The development and testing of an Assessment Scale for Insufficiencies in Family Resilience. *Nursing Reports*, 15(5), 145. <https://doi.org/10.3390/nursrep15050145>
- ウェブサイト : <https://nursingresearch.jp/>
- 開発歴 : Apr. 12, 2022 1.0JA 発行
Dec. 6, 2022 1.1JA 発行
Jan. 13, 2023 1.2JA 発行
Jan. 16, 2023 1.3JA 発行
Feb. 20, 2023 1.4JA 発行